

江東区こども発達センター 平成30年度 事業所自己評価

職員による自己評価（◎○機関の強み）	保護者による評価
<p>①環境体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部屋の数や広さは、施設基準を満たしているが、 改修工事が延期され目途が立っていない。電気設備などが古くなり取替えが必要な状態 ・ 訓練室、面談室等が足りず、廊下等を利用 ・ トイレ、手洗い場など衛生管理に課題がある。 <p>②業務改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年毎第三者評価、毎年法人独自アンケートで利用者の意向把握、職員の意見把握に努め、業務改善につなげているがまだ不十分な点が多い。 <p>◎園内研修、外部研修、自主研修が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容や参加し易い時間など検討が必要。 ・ 園児増→業務量の増で、業務量の改善が必要。 <p>③適切な支援の提供</p> <p>◎計画作成前のアセスメントの実施</p> <p>◎標準化されたアセスメントツールの使用</p> <p>◎詳細なニーズ調査表を基に個別支援計画を作成し、半期見直しで再チェックし変化を確認した</p> <p>◎チームによる計画作成、保護者説明・了解</p> <p>◎活動毎のプログラムを作成しており、内容にはグループメンバーの状況・特徴を加味している</p> <p>◎定期的モニタリング、半期見直し修正を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人数増で、行事、面談、振り返り、記録などの見直し、修正を行ったがまだ不十分。 <p>④保護者との連携</p> <p>◎^ハアレルトレーニング、父母会、保護者会、懇談会実施</p> <p>◎運営規程、利用者負担金等を契約時説明する</p> <p>◎保護者の悩み等へ対応。個別面談、随時相談、電話連絡、ノート、要望の各種申請書を実施</p> <p>○相談内容に応じ、担任、専門職員、管理等対応</p> <p>⑤関係機関との連携</p> <p>○相談支援で契約者の一部に担当者会議を実</p>	<p>①環境体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通園人数、利用児状況から見て職員数が不足。 ・ 親待機部屋、オムツ替え場、全体的に古い。部屋が暗い。廊下の荷物・教材が乱雑である。 ・ 部屋・指導クラスを増やす。机の配置工夫 ・ トイレ等を清潔に、廊下の冷暖房が不十分。 <p>②業務改善・職員対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が忙しそうで、話しかけにくい。 ・ 生活ノートを書くことより子供をみて欲しい。 ・ 依頼をした書類を貰うのが遅い。 ・ 毎年、通園クラスの先生が変わり残念に思う。 ・ 笑顔で穏やかな物言い、ネイル×、全職員名札着 <p>③適切な支援の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 療育目的の説明、学習や給食様子の報告を。 ・ バスの時間が後10分ぐらい遅くならないか。 ・ 行事のお知らせをもっと早くにしてほしい。 ・ 給食メニューを子供用に合わせて欲しい。 ・ 月曜グループ休みが多い、支援に繋がる待ちが長い。通園回数少ない、小学校でも通いたい。 ・ 幼稚園でやる集団遊びを取り上げて欲しい。 ・ 食事指導をお願いしたが見て貰っていない？ ・ 親が参加する場面で、親まかせになる。 ・ 発達検査は個別の場所で。 ・ PT,OTの無料が助かる <p>④保護者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聴き取りへの配慮、会話など気遣い、 ・ 障がいについての具体的な事、他の事例等、他機関情報などの突っ込んだ事をしりたい。 ・ 面談以外でも話す時間を、家族間交流の機会を。 <p>⑤関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭・幼稚園・CoCo間の情報連携をしたい。 <p>⑥危機管理・権利擁護・虐待防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 叩かれたりした時にすぐ冷やしてくれる。 ・ 第三者評価や第三者委員を知らなかった。

<p>施。</p> <p>◎医療管理が必要な場合、主治医から診断書・所見書提出、就園前健診による状況確認を実施</p> <p>・他機関並行通園児に対し、機関訪問、電話連絡、保護者を介しての情報共有を行っている。</p> <p>◎地域自立支援協議会児童部会の役割を担う。</p> <p>◎移行支援では、保育園・幼稚園・学校等に報告書提出・ケース会議の実施に取り組んでいる。</p> <p>⑥危機管理</p> <p>○防災、衛生管理、感染症対応マニュアルを作成</p> <p>○防災訓練（全館、園全体、クラス単位など）で、月1回を目標にしてきたが不十分になった。</p> <p>・危機管理の意識を職員全体で持ち共通理解を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親の希望無しに学校等に情報が流れると心配。 ・子ども同士の争いの対応に信頼が持た。 ・少しの怪我也看護師が対応してくれる。 ・すぐに教えてもらえることが嬉しい。 ・イスや教材の積み重ねなどに危険を感じる。 ・こどもの訴えを本気にして欲しい。
---	--



- 長期目標（3年）施設改修による快適な施設、新規施設開園による利用保障の向上
- 短期目標（1年）改善可能な具体的目標を設定・実施し、快適さの向上を図る。

①環境体制整備

方針1：施設管理における衛生管理、整理整頓の向上を図る。

- ①個人情報棚の確保、②いらぬものを捨てる、③オムツ替えの場所、④トイレ衛生管理検討

②業務改善

方針2-1：各事業別に改善点の抽出・実施、全体業務に関わる作業効率化を検討する。

- ①各事業別に保護者の意見を踏まえた改善計画 ②オンライン・ペーパーレスの改善点

方針2-2：年間計画に研修計画を提案（主任）し、希望調査・意見調整を行う。

- ①内部研修の企画、②外部研修（他事業所への研修含）への希望調査実施

③適切な支援の提供

方針3：各事業別に支援提供内容の業務を見直す（ポイントの明確化、支援内容の充実、効率化）

- ①振り返り、記録、準備の時間・内容 ②行事等スケジュール見直し

④保護者との連携

方針4：発達、療育機関、育児、保健、就学等の可能な職員の照会表を作り、面談の充実を図る

⑤関係機関との連携

方針5：現状の方針を引継ぐ。必要な改善は随時一検討

⑥危機管理

方針6：要保護対応、権利擁護、危機管理の視点で、短期の変革に取り組む

- ①要保護対応の職員研修（発見、通報、見守り支援）

②人権を配慮した施設内虐待防止に取り組む—緊急時の身体拘束の明記（激しいかんしゃく、物を投げ、他者を傷つけなど）、日常指導場面の援助方法（着席、離席、行動援助、身辺自立など）

③わからない・知らないがない危機管理マニュアルの共通理解を図る。

※今後の実現に向けた取り組みスケジュール

- ・PDCA サイクル：クラス・部門・関係者等で検討→管理に提案・承認→職員全体周知→実施→チェック・中間報告・修正・・・(経過確認)・・・→結果報告
- ・目標時期：①課題抽出、方法検討—4月中、随時
- ②実施時期—4月初め、5月連休明け、その他随時
- ③経過報告—終礼、月末報告会、年度末報告会など